


高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる</li> </ul>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる</li> <li>自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる</li> </ul>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。</li> <li>社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。</li> </ul>	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる</li> <li>データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる</li> </ol>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる</li> <li>自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる</li> </ol>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている</li> <li>社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている</li> <li>社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている</li> </ol>	

授業日	6/26(水)	1学期授業回数	7回目 / 全7回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①③ 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①②③ 本時の具体的な目標 ・社会課題2について、これまでの情報を整理・分析し、自分たちなりの結論・提言をまとめることができる		
時間 授業内容	0	<b>復習</b> 夏のフィールドワークの実施要項の確認	
	5	<b>インタビュー調査</b> アポイントの取り方[電話編] 生徒が実際に訪問場所へ電話し、アポイントをとる	
	10	<b>宿題</b> ロイロアンケート ロイロに配信された記事を読んで、インタビューガイド作成のための質問(案)を作成	
	15	<b>復習</b> ラーケーションに関する資料やインタビュー・対話型論証モデルを振り返る	
	20	<b>グループワーク①</b> インタビューメモをもとに、班の中で考えたことを発表 ・司会から時計回りに「考えたこと」を発表 例1)「〇〇について、～という意見がありましたが、私は△△と思います」 例2)「××さんは、どう考えますか」	
	30	<b>講義</b> 反駁・結論における注意点・考え方  <b>グループワーク②</b> 各班で対話型論証モデルの反駁と結論・提言の項目を作成する <b>パフォーマンス課題</b> あなたはたちの班は、企画部総合政策課の制作班です。2025年に当選した新しい知事の下で、政策の企画及び立案するのが仕事です。県議会に出された「愛知県や大分県別府市など、ラーケーションを導入している自治体が出てきているが、そのような制度を導入する考えがあるのか？」という質問に対して、答弁の原案を作ります。答弁の原案を、対話型論証モデルを意識して作成してください。 ※課題に入る前に、「反駁」「結論を導く」について講義。	
	50	<b>発表</b> 班ごとに代表者が前に出て、答弁を疑似体験 議員A役「ラーケーションを導入する 考えはありますか」 議長役「〇〇くん」 代表生徒の回答「(対話型論証モデルを もとに回答)」 議員X役からの質問	
			
評価方法	① インタビューメモをもとに、自らの考えや意見を共有し、パフォーマンス課題の内容を深めることができる。 ② 対話型論証モデルを意識して答弁の原案を作成し、円滑に発表・質疑応答ができる。		
宿題指示	次回のインタビューに向けて、ロイロに配信された記事を読んで、当日のインタビューガイド作成のための質問(案)を作成する。質問は、ロイロアンケートの1～4の観点に基づき、各自4つ提出する。		